sysmex

第52期　期末株主通信
2018年4月1日—2019年3月31日
証券コード 6869

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集
「新・中期経営計画」を策定 …… 5ページ

持続可能な社会へ ❶
シスメックスのサステナビリティ …… 7ページ

テクノパーク イーストサイト（神戸）

Lighting the way with diagnostics

>> 詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

海外売上が継続的に伸長し、増収・増益を達成しました。

代表取締役会長兼社長 CEO

家次 恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略 歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。【趣 味】読書、スポーツ観戦【信 条】「意あらば通ず」

ポイント1 海外の全ての地域において、現地通貨ベース・円ベースともに増収

ポイント2 当期利益*は、為替差損などの影響があるも、税負担率の低下などにより増益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2019年3月期 通期の業績は、海外の全ての地域において現地通貨ベース・円ベースともに増収となりました。また、当期利益は為替差損などの影響があったものの、税負担率の低下などにより増益となりました。売上高は前年同期比4.1%増、営業利益は同3.7%増、親会社の所有者に帰属する当期利益は同5.1%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比5.5%増、営業利益は同3.4%増となります。

国内は、尿検査分野、免疫検査分野、ライフサイエンス分野を中心に売上が伸長しましたが、ビオメリュー社との合弁会社解消の影響などにより減収となりました。海外は、ヘマトロジー分野*を中心に売上が堅調に伸長し、全ての地域で増収となりました。これらの結果、当社グループの海外売上高比率は85.0%となりました。

配当につきましては、年初予想の1株68円（中間34円、期末34円）に対し、期末に2円増配し、年間70円（中間34円、期末36円）といたしました。これにより17期連続の増配となり、連結配当性向は35.4%となります。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

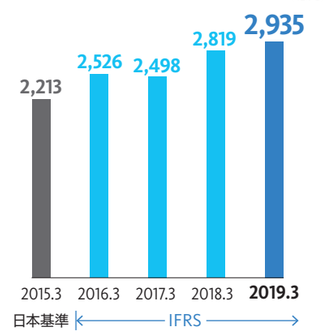
2020年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高3,200億円、営業利益640億円、当期利益420億円を計画しています※。また、配当につきましては、年間で1株につき72円を予定しております。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 想定為替レート：1USドル＝110.0円、1ユーロ＝125.0円、1中国元＝16.5円で算出

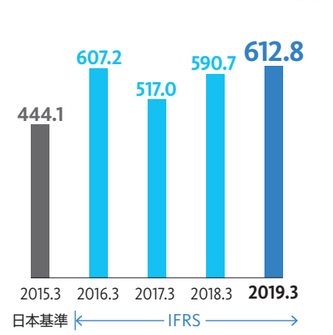
売上高

前年同期比 4.1%増



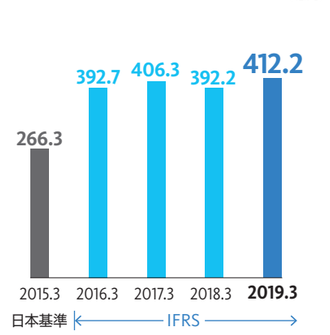
営業利益

前年同期比 3.7%増

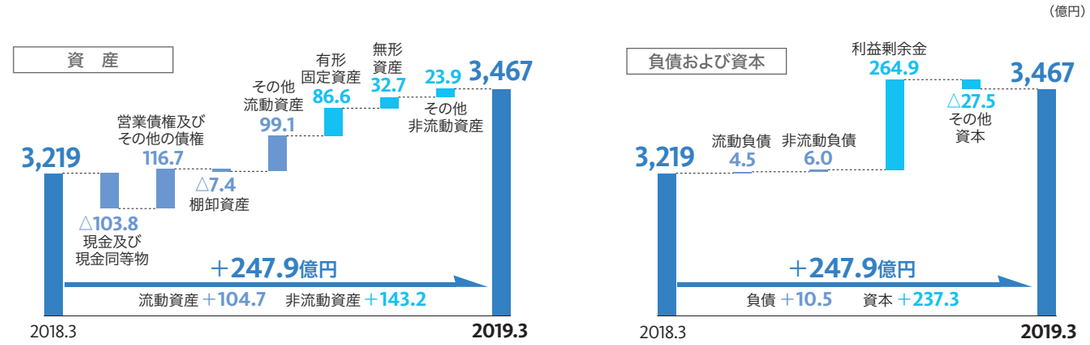


当期利益*

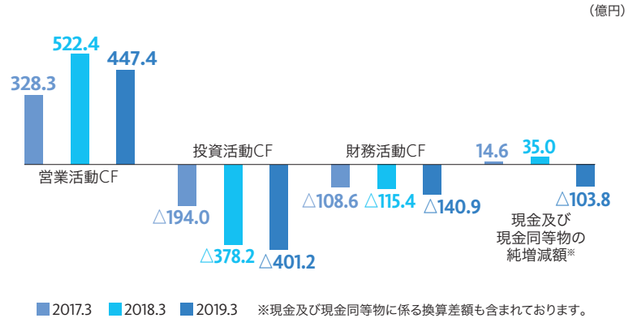
前年同期比 5.1%増



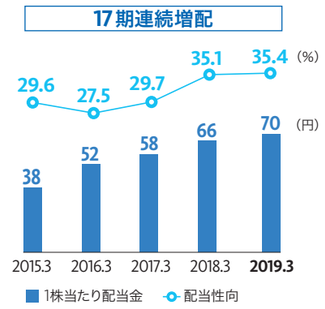
連結財政状態計算書の増減要因



キャッシュ・フローの推移



1株当たり配当金／配当性向



利益配分（配当）に関する考え方について

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益。

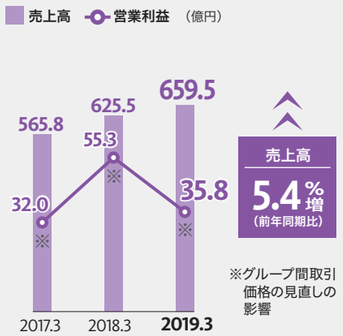
*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

>> 詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

■所在地別セグメント

米　州

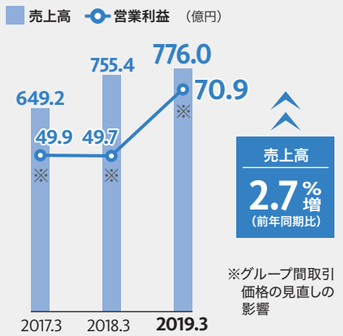


現地通貨ベース（前年同期比）　売上高 5.3%増　営業利益 35.6%減

1 米国のヘマトロジー分野*、血液凝固検査分野における伸長が、中南米やカナダの減収を補い、増収

2 グループ間取引価格の見直しなどの影響が増収効果を上回り、減益

EMEA*

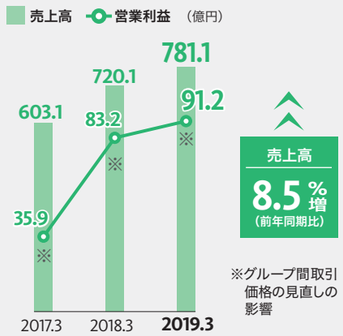


現地通貨ベース（前年同期比）　売上高 4.0%増　営業利益 44.0%増

1 新興国の通貨安の影響が継続するも、ヘマトロジー分野やライフサイエンス分野の売上が堅調に推移し、増収

2 増収効果や原価率の改善による売上総利益の増加により、増益

中　国

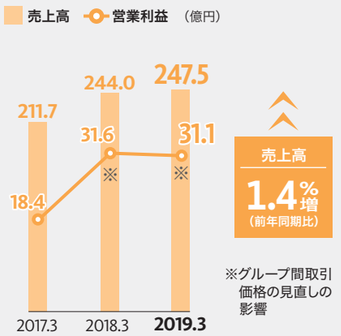


現地通貨ベース（前年同期比）　売上高 10.1%増　営業利益 10.6%増

1 ヘマトロジー分野、免疫検査分野、血液凝固検査分野における試薬売上の伸長が、機器売上の減少を補い、増収

2 増収効果や、その他の営業利益の増加により増益

アジア・パシフィック



※アジア・パシフィックについては、2014年3月期より円貨のみの開示としています。

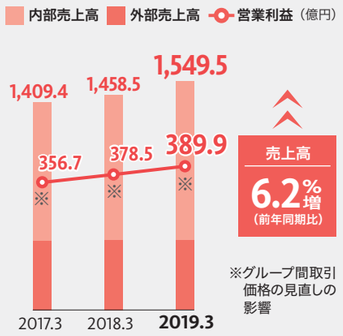
円ベース（前年同期比）　営業利益 1.7%減

1 韓国や東南アジアにおける試薬売上の伸長が南アジアの減収を補い、増収

2 グループ間取引価格の見直しや販売管理費の増加などの影響により、減益

（注）日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。

日　本



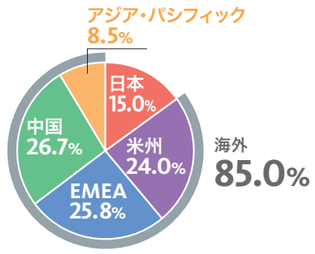
■内部売上高：関係会社への輸出など
■外部売上高：日本のほかに、IDEXX社向けなどの売上を含む。

（前年同期比）　営業利益 3.0%増

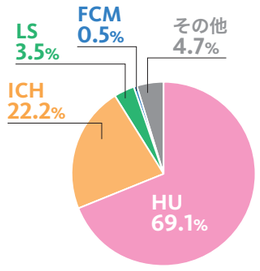
1 ビオメリュー社との合弁会社解消の影響により国内売上が減少するも、IDEXX社および海外関係会社向けの売上が伸長し、増収

2 販売管理費や研究開発費が増加するも、増収効果などにより増益

■地域別売上高構成比



■事業別売上高構成比



コア事業

HU……Hematology（ヘマトロジー）
Urinalysis（尿）

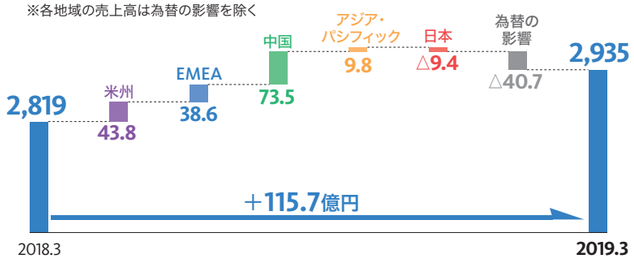
ICH……Immunochemistry（免疫）
Clinical chemistry（生化学）
Hemostasis（血液凝固）

ネクストコア事業

LS……Life Science（ライフサイエンス）
FCM…Flow CytoMetry（フローサイトメトリー）

■地域別売上高の増減（億円）

※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート（円）

	2017年3月期	2018年3月期	**2019年3月期**
1USドル	108.4	110.9	**110.9**
1ユーロ	118.8	129.7	**128.4**
1中国元	16.1	16.8	**16.5**

グローバルレポート

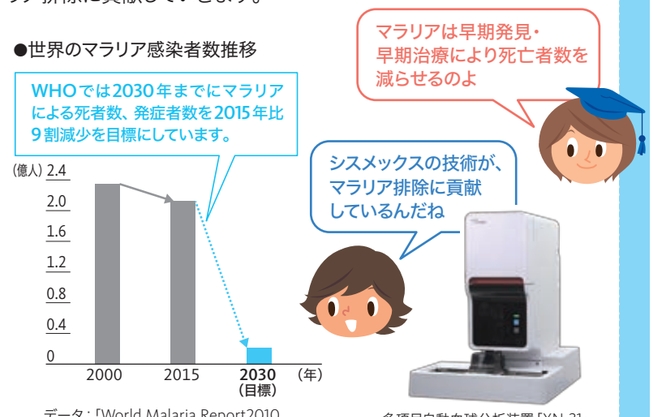
マラリア排除に貢献する製品を欧州で販売開始

マラリアは世界保健機構（WHO）が定める世界三大感染症の一つです。現在、世界人口の約4割にあたる約32億人が感染のリスクにさらされており、2017年の感染者数は約2.2億人、死亡者数は約44万人と報告されています。現在のマラリア検査は主に、マラリア原虫に感染した赤血球を目視する顕微鏡検査や、抗原/抗体反応を用いた簡易検査キットによって行われていますが、いずれの検査も約15～30分の時間がかかるほか、顕微鏡検査には熟練の技能を要します。

シスメックスは、持続可能な社会の実現および当社の持続的な成長に向けて優先的に取り組むべき課題の一つに「製品・サービスを通じた医療課題解決」を掲げ、マラリアをはじめとした感染症に関する検査技術の創出、製品開発を進めています。当社が開発した「XN-31」は、ヘマトロジー分野で培った技術を応用し、前処理作業を伴わずにマラリア原虫などに感染した赤血球の有無を約1分で測定できます。このたび、本製品は欧州で医療機器として販売が可能な「CEマーク*」を取得しました。今後欧州で発売するとともに、アフリカ・アジアにおいても各国許認可を取得次第、発売予定です。

シスメックスは本製品をマラリアまん延地域や、マラリアの流入防止に取り組む先進諸国へ広く導入することで、世界におけるマラリア排除に貢献していきます。

●世界のマラリア感染者数推移



データ：「World Malaria Report2010, World Malaria Report2017」より

多項目自動血球分析装置「XN-31」

*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*CEマーク：欧州経済地域内で販売される特定の製品に対して取得が義務づけられている基準適合マーク。

特 集

「新・中期経営計画」を策定

グループの力強い成長持続の実現とそれを支える経営基盤の強化を推進するため、2022年3月期を最終年度とする「新・中期経営計画」を策定しました。長期経営目標の達成に向け、新たに策定した計画を着実に実行し、ヘルスケアの進化・発展へ貢献し続けます。

ヘルスケア市場は堅調に拡大

- 新興国におけるビジネス機会の増加
- 医療効率化への需要増加
- 薬事規制の厳格化・参入障壁の上昇
- 新たな検査の普及（主に先進国）

IRウェブサイトのご案内　2019年3月期の決算総括や新・中期経営計画について、社長の家次による説明をお聞きいただけます。
シスメックスのトップページから > IR情報 > IR資料室 > プレゼンテーション

長期経営目標（2025年）

■長期ビジョン

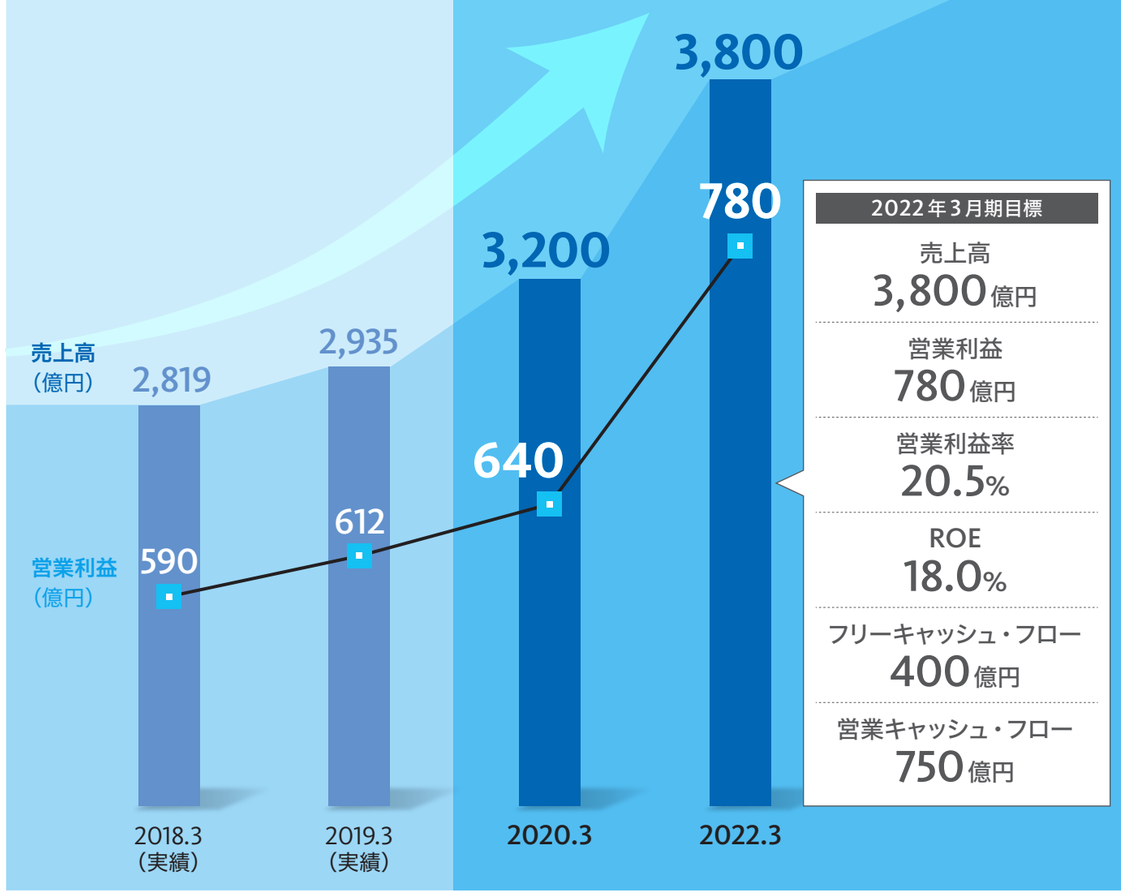
「特徴のある先進的なヘルスケアテスティング企業」
(Unique & Advanced Healthcare Testing Company)

■ポジショニング

1. 新たな診断価値を創出するIVDグローバルTop5
2. 治療を最適化する個別化診断のリーディングカンパニー
3. プライマリケアの進展に貢献するソリューションプロバイダー
4. 価値と安心を提供する魅力あふれる会社
5. スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

新・中期経営計画

（2020年3月期～2022年3月期）



2022年3月期目標

売上高	3,800億円
営業利益	780億円
営業利益率	20.5%
ROE	18.0%
フリーキャッシュ・フロー	400億円
営業キャッシュ・フロー	750億円

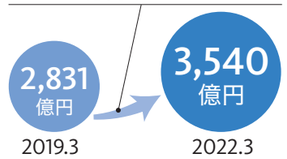
※中期経営計画期間における想定為替レート：1USドル＝110円、1ユーロ＝125円、1中国元＝16.5円

ポジショニング目標達成に向けた取り組み

1 IVD（検体検査）事業の成長力再強化

- IVD商品開発力の強化
- ヘマトロジー分野*の先進国におけるシェア拡大と新興国における機会獲得
- 新製品市場導入の加速と試薬売上の拡大

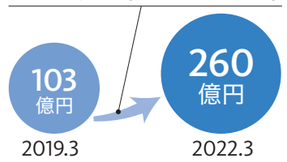
+708億円（CAGR* 7.7%）



2 ライフサイエンス事業化スピードの加速

- OSNA™やFISH試薬のグローバル展開
- がんゲノム医療におけるプレゼンス強化
- リキッドバイオプシー検査市場への参入

+156億円（CAGR 35.9%）



3 品質／品質保証機能の強化

- 「責任ある製品・サービスの提供」へ向けた品質保証機能の強化

4 事業を支える薬事／臨床開発機能の強化

- ビジネス機会獲得の早期化へ向けた薬事・臨床開発機能の強化

5 デジタル化によるビジネスプロセス改革

- 次世代基幹システムやデジタル基盤の刷新

6 人材マネジメントの変革

- 次世代リーダーと高度専門人材の獲得・育成に向けた人材マネジメントの変革

＋

持続可能な成長を支えるCSR課題への取り組み（7-8ページご参照）

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*CAGR：年平均成長率。

持続可能な社会へ──❶

シスメックスのサステナビリティ

ヘルスケア分野に携わる企業として、シスメックスは事業活動を通じてさまざまな社会課題の解決に努めてきました。今後も持続可能な社会を実現し、社会とともに発展し続ける企業であるための、シスメックスのサステナビリティ（持続可能性）への取り組みについてシリーズでご紹介します。

なぜ、サステナビリティへの取り組みが重要なの？

今、私たちはグローバルに広がる環境問題や人権問題、経済格差などの社会課題に直面していますが、将来の世代に対して持続可能な社会を実現していくことが求められています。2015年には、国連が持続可能な世界の実現のために解決すべき課題と目標をまとめた「持続可能な開発目標（SDGs）」を採択し、グローバルに取り組みが進められています。国や国際団体だけでなく、企業も事業活動により収益を上げることに加え、さまざまな環境や社会問題を意識して事業活動を行うことが求められています。

どのように取り組みを進めようとしているの？

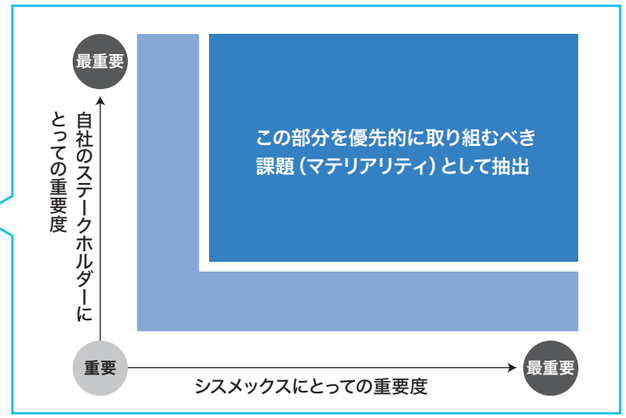
持続可能な社会の実現に向けて、優先的に取り組むべき課題（マテリアリティ）を特定し、具体的な行動計画に展開しています。特定した課題については、達成度を評価するための指標（KPI）を新・中期経営計画に盛り込み、進捗状況をモニタリングしながら取り組みを進めています。

■マテリアリティの特定プロセス

STEP.1　課題の把握・整理
グローバルな社会課題や、ステークホルダーからの要請事項を抽出

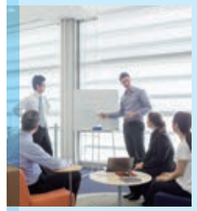
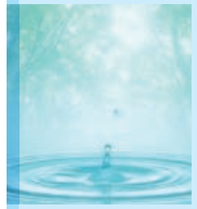
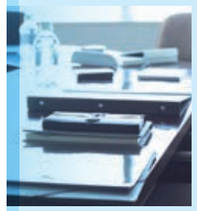
STEP.2　優先順位付け
ステークホルダーとシスメックスの2つの観点から中長期的なリスク・機会評価を行い、優先順位を整理

STEP.3　妥当性の確認
経営会議で審議、承認



具体的には、どのような課題を解決していくの？

シスメックスは、ヘルスケア分野に携わる企業として「製品・サービスを通じた医療課題解決」はもちろん、「魅力ある職場の実現」「環境への配慮」など、事業活動を行っていくうえで重要な課題にも積極的に取り組んでいます。社会課題の解決を通じて多様なステークホルダーの皆様に「安心」をお届けし、さらなる企業価値の向上と持続可能な社会の実現につなげていきます。

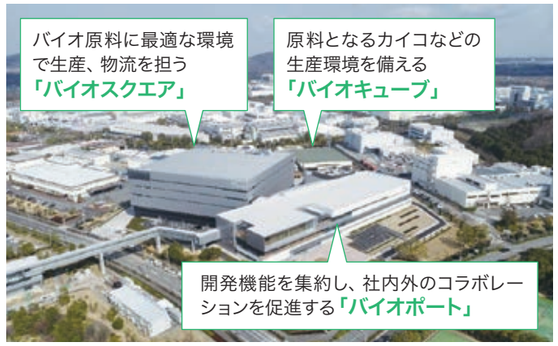
シスメックスのマテリアリティ	ステークホルダーへの提供価値	関連するSDGs
製品・サービスを通じた医療課題解決 ●事業活動を通じた医療課題解決 ●製品の普及などによる医療アクセスの改善	●健康寿命の延伸 ●医療費の抑制 ●患者さんの負担軽減	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
責任ある製品・サービスの提供 ●品質・安全性の確保 ●製品・サービスに関する適切な情報開示 ●サプライチェーンの評価・管理	●正確な検査結果の提供 ●医療の質向上 ●製品・サービスの安定供給	8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任つかう責任
 **魅力ある職場の実現** ●働きやすい職場環境の確保 ●人材の育成 ●ダイバーシティの推進	●多様な人材の能力発揮の機会提供 ●多様性を受容した社会の実現への貢献	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も
 **環境への配慮** ●製品ライフサイクルにおける環境配慮 ●事業所活動における環境負荷低減	●環境負荷の低減	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
 **ガバナンス** ●コーポレート・ガバナンス ●コンプライアンス ●リスクマネジメント	●経営の健全性、透明性の向上	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう

Next　次回からは、より具体的な活動内容をご紹介します。お楽しみに！

Topics
トピックス

バイオ診断薬*拠点「テクノパーク イーストサイト」を開設

血液凝固検査分野、免疫検査分野、ライフサイエンス分野などの事業拡大に向け、バイオテクノロジーを活用した診断薬の製品競争力向上および安定供給を目的に、バイオ診断薬拠点「テクノパーク イーストサイト」を2019年4月に開設しました。新拠点は、中核研究開発拠点テクノパーク内の最東端に位置し、バイオ診断薬の研究開発、原料調達、生産から物流までを一貫して行うことができます。今後も世界中のお客様へ高品質・高付加価値な製品を安定的にお届けすることにより、人々の健康に貢献します。



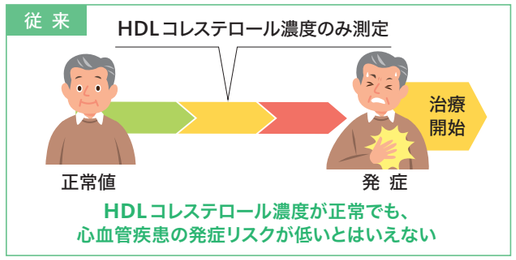
「テクノパーク イーストサイト」の外観

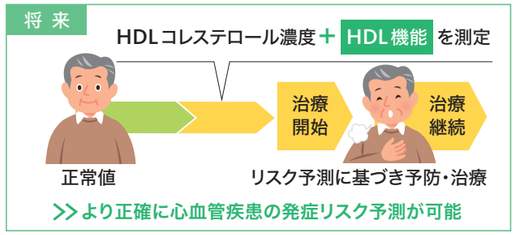
*バイオ診断薬：タンパク質や生物由来の原料を使用した診断薬。

「HDL機能測定（研究用）」の受託サービスを開始

HDL（高比重リポタンパク）は血管などに溜まったコレステロールを肝臓へと回収し、動脈硬化の発生や進行を抑制しています。健康診断などではHDLの中に含まれるコレステロールの“量”（HDLコレステロール濃度）を調べていますが、近年、HDLがコレステロールを回収・運搬する“能力”（HDL機能）を評価することが、心血管疾患の予防・管理に有用であるとの報告が相次いでいます。しかし、従来のHDL機能を評価する方法は測定手技が煩雑なうえに、特殊な設備を必要とし、検査に数日を要していました。

シスメックスは神戸大学との共同研究により、約30分でHDL機能を自動測定できる方法を開発しました。そして、研究者から試料をお預かりしてHDL機能を測定するサービスを2018年12月に開始しました。本サービスを通じてHDLの研究に関わる幅広い臨床データを蓄積し、動脈硬化などの予防、治療機会の提供への貢献を目指します。





「株主様会社見学会」を開催

3月14日～15日に、9回目となる「株主様会社見学会」を開催しました。今回は、創立50周年の感謝の気持ちを込めて、より多くの株主様にご参加いただけるよう、参加者数を増やして開催しました。当日は兵庫県加古川市にある機器生産拠点「アイ スクエア」をご見学いただいた後、株主様とシスメックス社員との懇親会を行い、当社に対するご意見やご質問などをお話いただきました。参加された株主様からは、「“人”を基点とした高品質、高効率なものづくりを実感できた」「職場環境への配慮を感じられ、活き活きとした雰囲気を感じた」などのご感想をいただきました。

「アイ スクエア」ご見学の様子

※応募者多数のため、抽選とさせていただきましたことをご了承ください。

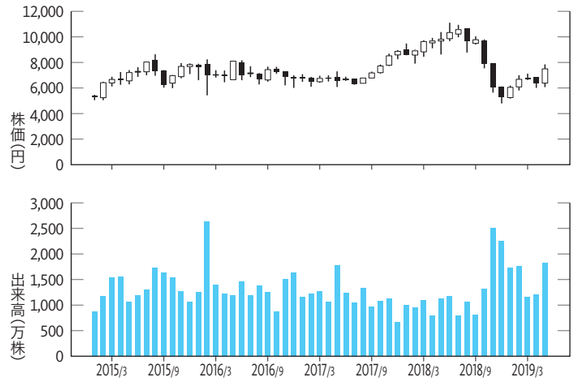
会社概要
（2019年3月31日現在）

■商号　シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日　1968年2月20日
■資本金　126億5,460万円
■格付け　AA−　（R&I：格付投資情報センター）
■従業員数　8,715名（連結）2,538名（単独）
＊嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容　臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
■役員　（2019年6月21日現在）

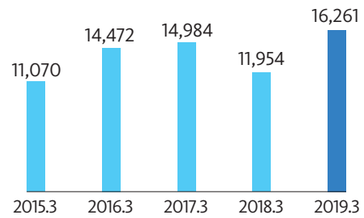
代表取締役会長兼社長 CEO	家次 恒
取締役 専務執行役員 CFO	中島 幸男
取締役 専務執行役員 LSビジネスユニット COO 兼 CTO	浅野 薫
取締役 専務執行役員 IVDビジネスユニット COO	立花 健治
取締役 常務執行役員	山本 純三 松井 石根 神田 博
社外取締役	髙橋 政代 太田 和男
取締役（監査等委員）	釜尾 幸俊
社外取締役（監査等委員）	大西 功一 梶浦 和人
上席執行役員	John Kershaw 濵口 行雄 大谷 育男 久保田 守
執行役員	藤本 敬二 彭 作輝 吉田 智一 飯塚 健介 Frank Buescher 小野 隆 金川 晃久

株式の状況
（2019年3月31日現在）

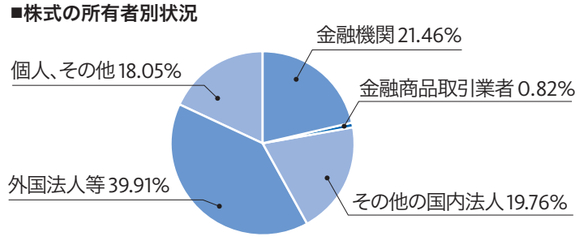
■会社の発行可能株式総数　598,688,000株
■発行済株式総数　209,154,432株
■株価・出来高の推移　（2019年5月31日現在）



■株主数の推移（人）



■株式の所有者別状況



株主メモ

■事業年度　毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会　6月
■基準日　定時株主総会　3月31日
期末配当金　3月31日
中間配当金　9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
■公告方法
当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス　www.sysmex.co.jp/ir/

■上場証券取引所　東京証券取引所市場第一部
■証券コード　6869
■単元株式数　100株
■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先（郵便物送付先・電話照会先）
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話　0120-094-777（通話料無料）

お知らせ
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。　2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。　3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

「神戸マラソン2019」を応援しています。

2019年11月17日（日）に開催される「第9回神戸マラソン」に特別協賛します。

大会テーマである「感謝と友情」には、阪神淡路大震災の復興に手を差し伸べていただいた皆様への感謝の気持ちが込められています。シスメックスはこの大会テーマに賛同し、第1回から特別協賛を続けています。

大会では約2万人のランナーにゼッケンを提供するほか、同時開催の「神戸マラソンEXPO」への出展や、当社従業員によるボランティア支援などを予定しています。地元神戸の企業として、また、ヘルスケアの次代を切り拓く「フロントランナー」として、大会を全面的にサポートすることで、健康で豊かな社会の実現に貢献していきます。

名　　称：第9回神戸マラソン
大会テーマ：「感謝と友情」
開 催 日：2019年11月17日（日）
大会規模：約20,000人
開催種目：フルマラソン
※第8回より国際陸上競技連盟の主要ロードレース格付けにおいてブロンズラベルを取得
主　　催：兵庫県／神戸市／兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／一般財団法人兵庫陸上競技協会

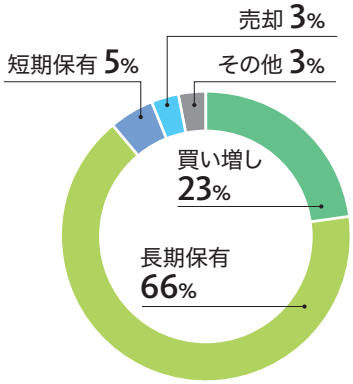
「シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト」
神戸マラソンについての詳細はもちろん、ランナーの皆様にとって必見のお役立ち情報や最新のトピックスをお届けしています。
http://kobe-marathon.sysmex.co.jp/

参加料の一部がチャリティとして、神戸マラソンフレンドシップバンクに寄付されます。

株主様アンケートのご報告

2019年2月発行の株主通信にて実施したアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉などを多数いただき、IRスタッフ一同にとって大きな励みとなりました。皆様から頂戴したさまざまなご意見を、今後の事業活動や株主通信の作成に活かしてまいります。

■当社株式についての今後の方針



自由ご記入欄

- 専門性の高い事業だと思いますが、株主に向けて分かりやすく発信していただき、ありがたいです。…**(40代、男性)**
- 日本のみならず積極的にグローバル展開されており、期待しております。…**(70代、女性)**
- 海外での活動状況を分かりやすく情報発信していただきたいです。…**(60代、男性)**

今後も新興国を中心に海外での展開を進め、株主通信でもその様子をお届けしていきます。

- 今後の医療発展に向けて遺伝子研究の成果を期待します。…**(40代、男性)**
- 技術力の向上と、持続可能性を意識した経営を行ってください。…**(40代、男性)**

今回より、社会とシスメックスの持続可能性に関する特集を始めました。ぜひご覧ください。

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073　Tel 078-265-0500　Fax 078-265-0524　www.sysmex.co.jp

再生紙、植物油インキを使用しています。